


<p>指揮者</p>	
<p>1番員</p>	<p>2番員の「伝達終わり」の呼称後、「よし」と合図して左足をひきつけ筒先のノズル側を右手で保持し姿勢を正す。</p> 
<p>2番員</p>	<p>伝達後、筒先補助位置に戻り、1番員に対し「伝達終わり」と呼称し、火点方向を向いて姿勢を正して待機する。</p> 
<p>3番員</p>	<p>スロットルレバーを元に戻し、直ちに放水弁ハンドルを閉じ、エンジンを停止する。 停止後、ポンプ計器側で火点に正対し、姿勢を正して待機する。</p>  

(4) 収 納

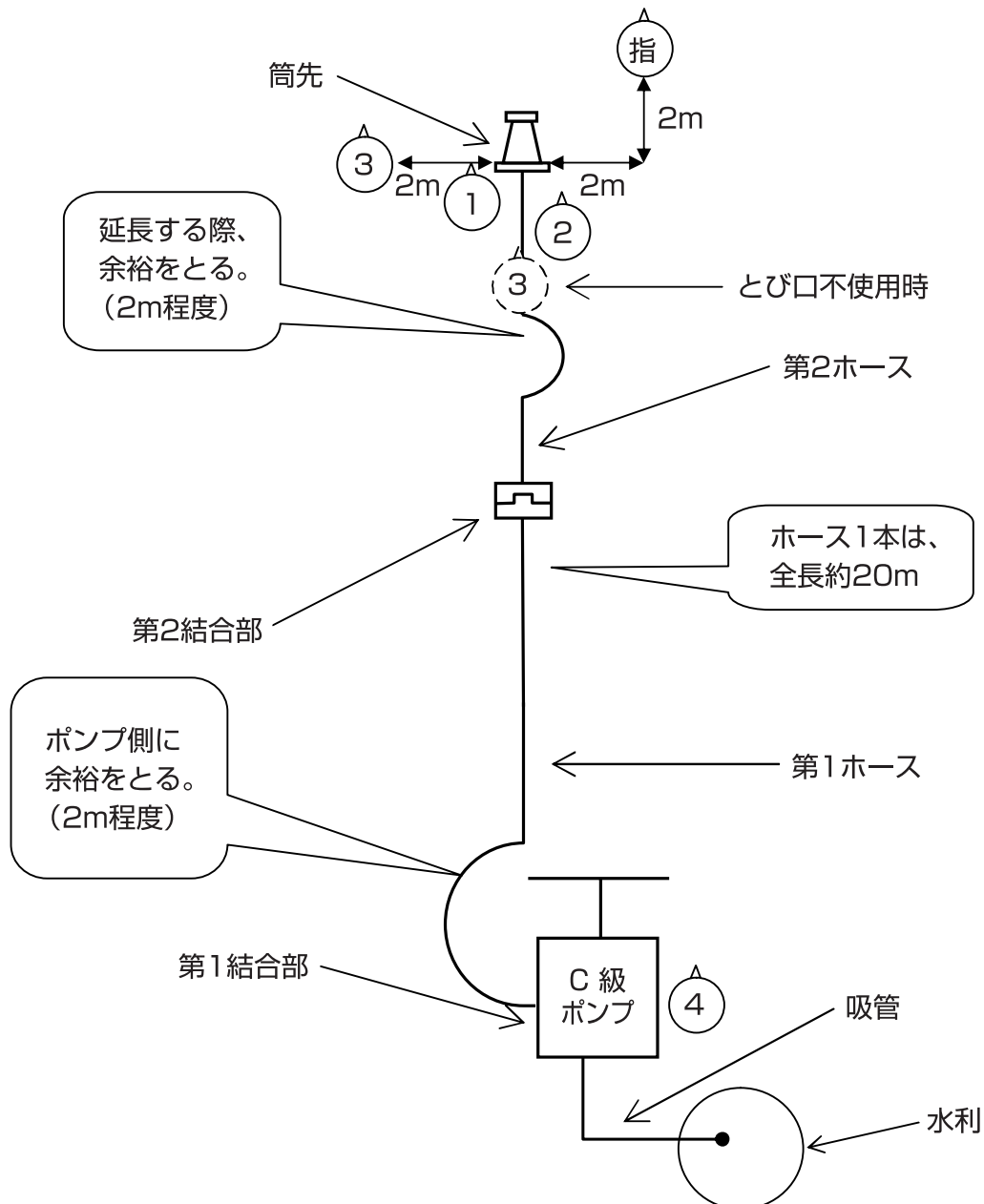
<p>指揮者</p>	<p>1番員、2番員及び3番員の待機状況を確認後、「おさめ」と号令をする。</p>
<p>1番員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令後、ホースの結合部を右足で踏み、両手で筒先をホースからはずす。 筒先を持ってポンプまで移動し、筒先を所定位置におさめ、集合線に移動する。</p> 
<p>2番員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令で回れ右をして、ポンプ後方の集合線に移動する。</p>
<p>3番員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令で第1ホースを離脱し、ポンプ後方の集合線に移動する。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">指揮者</p>	<p>ポンプ前2mの位置に駆け足で戻り、姿勢を正して、1番員、2番員及び3番員の整列が終了するのを待つ。</p> <p>整列が完了したら「気をつけ、わかれ」と号令し、隊員の敬礼を待って答礼（挙手の敬礼）し、直ちに手をおろす</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1番員</p>	<p>1番員、2番員及び3番員は、集合線に集合し、自主整頓を行った後、自主整頓をして「休め」の姿勢で待機する。</p> <p>指揮者の「気をつけ、わかれ」の号令で姿勢を正して挙手の敬礼を行い、指揮者が手をおろすのを待って手をおろす。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2番員</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3番員</p>	

C級ポンプ操法（5名操法）

1 人員、資器材及び水利等

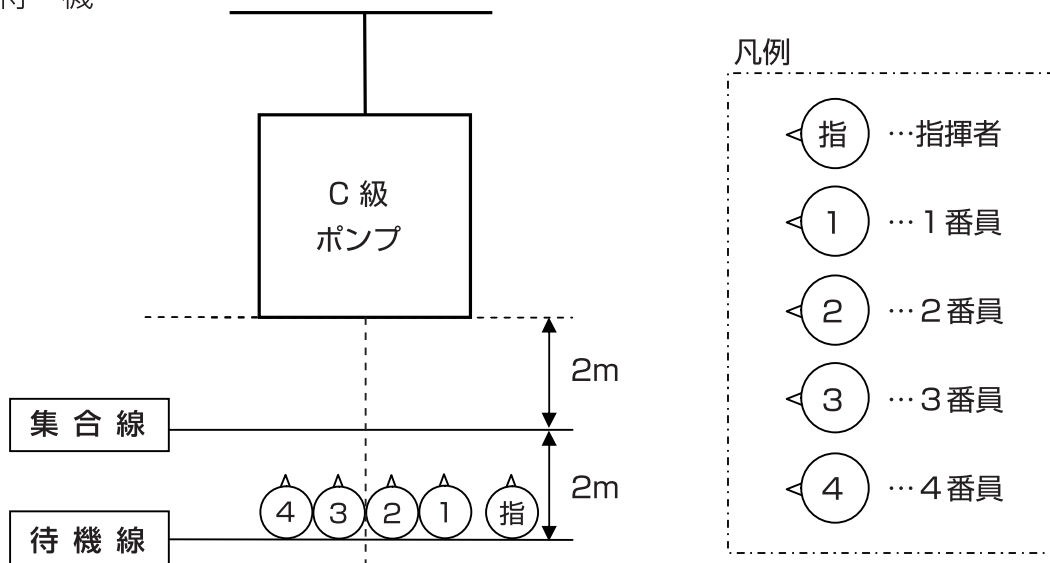
- (1) C級ポンプ操法（5名操法）に必要な人員は、指揮者1名、隊員4名とする。
- (2) C級ポンプを台車に積載した状態から操法を開始する。
- (3) 資器材は、二重巻ホース2本、筒先、吸管等を使用する。
- (4) 水利は、C級ポンプ（吸口側）側面から2mの位置で、吸管を伸長しストレーナ一部が水利に投入できる位置とする。
- (5) ホース延長及び吸管延長は次のとおりとする。



C級ポンプ操法（5名操法）

2 待機、集合及び点呼

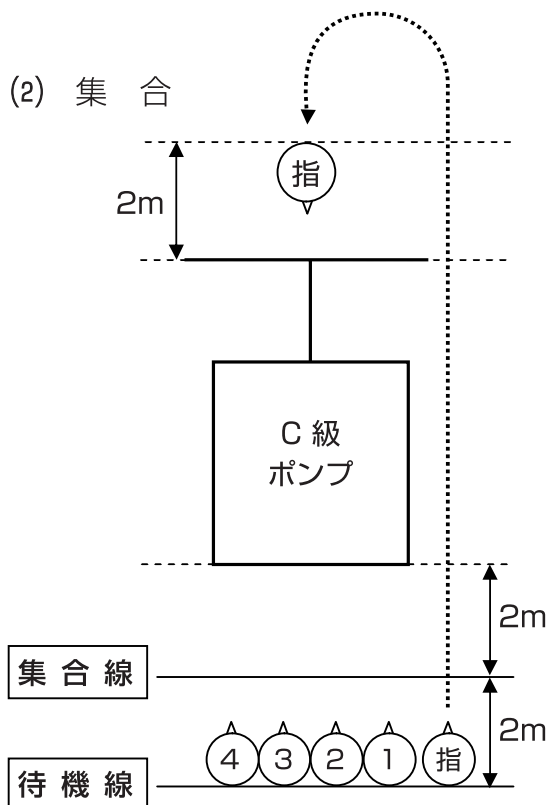
(1) 待機



指揮者、1番員から4番員は、集合線の後方2mの位置(待機線という。)で、2番員と3番員の間がポンプの中心となるように自主整頓を行った後、休めの姿勢で待機する。指揮者の位置は、1番員から右側に1歩離れた位置とする。



(2) 集合



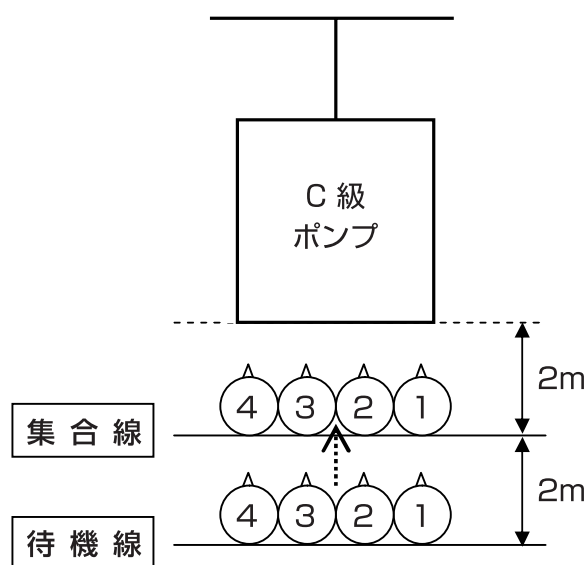
指揮者は、待機位置からポンプの右側を通り、ポンプの前方2mの位置で左に回り込んで、隊員に正対して姿勢を正す。

右手を上げ「集まれ」と号令をする(隊員が集合線に概ね揃ったら手をおろす)。



「集まれ」

C級ポンプ操法(5名操法)



1番員から4番員は、指揮者の「集まれ」の号令に対して「よし」と呼称し、手を取り駆け足で集合線に移動する。

移動後、2番員から4番員は右手を腰にとって自主整頓を行い、整頓が完了したら気をつけの姿勢をとる。



<自主整頓>

(3) 点呼

指揮者は、隊員が気をつけの姿勢をとったら、「番号」と号令する。1番員から4番員は、指揮者の「番号」の号令で、それぞれ「1」、「2」、…と呼称する。

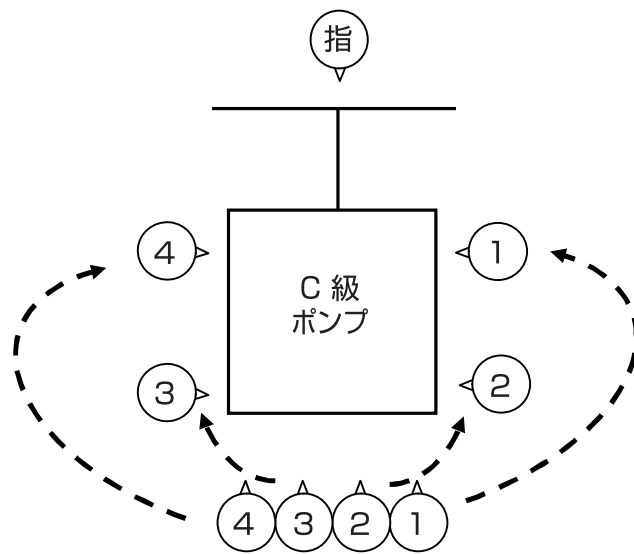
3

操法開始～収納

(1) 操法指示及び定位部署

指揮者は、「只今からC級ポンプ操法を行う」と操法を指示した後、「目標、前方の火点、定位につけ」と号令する。





1番員から4番員は、指揮者の「定位につけ」の号令に対して「よし」と呼称し、それぞれポンプ脇に移動する。移動後は、姿勢を正して待機する。









C級ポンプ操法 (5名操法)

(2) 操法開始

指揮者	<p>1番員から4番員が定位についたことを確認した後、「操作始め」と号令する。 その後、回れ右をして、1番員に先行して火点方向に向かう。</p>
1番員	<p>1番員から4番員は、「よし」と呼称後、近くの吸管止め金をはずし、全員で協力して吸管を持ち上げ、ポンプ後方1mの位置に搬送し、一旦地面に置いた後、ヨリを戻しながら吸管を延ばす。 吸管を延ばし終わったら、4番員は「よし」と合図する。</p>
2番員	
3番員	
4番員	

<p>指揮者</p>	
<p>1番員</p>	<p>4番員の「よし」の合図後、筒先を背負い第2ホースを左肩にかついで第2結合部位置まで駆け足で進む。</p> 
<p>2番員</p>	<p>4番員の「よし」の合図後、第1ホースを放口側におろしてホースのメス結合部を右足で踏み、オス結合部を持ってホースを延ばす。</p> 
<p>3番員</p>	<p>4番員の「よし」の合図後、吸管を両足で挟むようにして4番員の吸管結合を補助する。</p> 
<p>4番員</p>	<p>3番員と協力し、吸管結合部を両手で持ち、吸管を吸口に結合する。</p> 

<p>指揮者</p>	<p>放水位置の右斜め前方で停止し、火点(正面)を確認した後、大きく左に向きを変え、火点と各隊員の操作状況を確認出来る位置で姿勢を正す。</p>
<p>1番員</p>	<p>第2結合部位置まで来たら、筒先とホースを地面に置く。 ホースのメス結合部を右足で踏み、オス結合部を持ってホースを延ばす。 オス結合部を一旦地面に置き、左足でオス結合部を踏み、筒先を結合する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>2番員</p>	<p>概ね2mの余裕ホースをとってメス結合部をポンプの放口に結合した後、足元に注意しながらオス結合部を右手に持ち、駆け足で第2結合部位置に進む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>3番員</p>	<p>吸管ひかえ綱を解き、4番員と協力し、吸管を水利に投入する。 吸管投入後、ひかえ綱をポンプに結び、吸管屈曲部に枕木をあてる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>4番員</p>	<p>3番員と協力し、吸管を水利に投入後、エンジンを始動させ吸水処置を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>

<p>指揮者</p>	
<p>1番員</p>	<p>筒先を左手で保持して、右手で余裕ホースをとり、前方を注視し、2番員のホース結合を待つ。</p> <p>2番員の「よし」の合図で「放水始め」と号令し、筒先を持って火点に向かってホースを延ばす。</p>  
<p>2番員</p>	<p>第2結合部位置に至ったら、左足で第2ホースのメス結合部を踏み、第1ホースのオス結合部を結合し「よし」と呼称する。</p> 
<p>3番員</p>	<p>とび口積載位置から、とび口を取り、左手でとび口の柄の中央部付近を持ち、左脇に抱えとび口を下向きにして、駆け足でホースラインに沿って1番員の左横2mの位置に至って停止する。</p> 
<p>4番員</p>	<p>吸水完了後、ポンプ計器側で火点を向き、姿勢を正して待機する。</p> 